

SmartRoller® SmartMate®

2025年4月1日に実施される
【国土地理院電子基準点標高成果改定】で
SmartRoller® 及び SmartMate®
使用時の対応について

2025年3月

はじめに

お客様各位

日頃よりSmartRoller®及びSmartMate®をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

このたび、国土地理院の施策として、令和7年4月1日より電子基準点、三角点、水準点等の標高成果が、衛星測位を基盤とする最新の測地成果「測地成果2024」に改定されます。

※詳細は国土地理院HPをご参照ください。

<https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/hyoko2024rev.html>

この改定により、**電子基準点を使用した補正情報**で計測を行っているSmartRoller®及びSmartMate®においては、4月1日以降、標高（楕円体高）が一致しなくなる場合があります。

※使用場所によっては、-40cm～+60cmの高さ差分が発生する可能性があります。

※X,Y（緯度・経度）に変更はありません。

今回の改定に伴うSmartRoller®及びSmartMate®ご使用時の対応方法をご案内いたします。

以下ご参照の上、ご対応いただきますようお願いいたします。

※各施工現場における標高改定への対応については、事前に発注者様にご確認ください。

※現在の情報の為、内容変更される場合があることを予めご了承ください。

電子基準点を使用した補正情報を利用している場合

1. 現在施工中で4月以降も継続する現場の場合

ジェノバ社（VRSのみ）及びドコモ社の配信サービスを使用している場合は改定前のマウントポイントが配信される予定です。その指定するマウントポイントを使用すれば、再ローカライゼーションなどをおこなわずに以前と同様の計測が可能となります。

※ジェノバ社マウントポイントJRR使用の場合は対応不可です。

■ジェノバ社の配信サービスをご利用の場合

- マウントポイント：JVR32E、JVR32L、JVR32Mを使用している場合

→マウントポイント：LEG_A

- マウントポイント：JVR30Gを使用している場合

→マウントポイント：LEG_D

2025年4月1日（当日前でも可）に“LEG_A”または“LEG_D”に変更してください。

※2025年4月1日以前のマウントポイントと同様の配信がおこなわれます。

■ドコモ社の配信サービスをご利用の場合

- マウントポイント：RRSGD、RRSGを使用している場合

→マウントポイントの**変更は不要**です。

マウントポイント **RRSGD、RRSG** は2025年4月1日以降でも以前のマウントポイントと同様の配信がおこなわれます。※ただし、改定前のマウントポイントを使用できる期限は現在未定です。

電子基準点を使用した補正情報を利用している場合

2. 4月以降に新規で開始する現場の場合

2025年4月以降に新規で開始する現場で使用する場合は、「**測地成果2024**」を使用します。
原則、各基準点（電子基準点および民間等電子基準点）の橢円体高変更後は、新橢円体高対応のマウントポイントで計測、ローカライゼーションをおこなうことになります。

※設計データも「測地成果2024」である必要があります。

※「測地成果2024」で計測をおこなう場合、ジオイド2024のパラメータファイルが必要になります。

* 次頁参照

■ジェノバ社配信サービスを利用する場合

●マウントポイント：JVR32E、JVR32L、JVR32M、JVR30G

※以前のマウントポイントと同様のマウントポイント名称ですが、2024年4月1日から新橢円体高での配信になっています。

■ドコモ社配信サービスを利用する場合

●マウントポイント：RRSG2024

※2025年4月1日から新橢円体高に対応するマウントポイントは**RRSG2024**となります。

マウントポイントRRSG2024は電子基準点を使用した配信のみであり、ドコモ社自前基準局からの配信は含まれません。

新橢円体高対応のマウントポイントRRSGD2024及びRRSD2024は準備されるまで使用することはできません。（提供時期不明）

ジオイド2024パラメータファイルについて

SmartRoller®及びSmartMate®使用時のジオイド2024のパラメータファイル対応は既に準備完了しています。

ジオイド2024パラメータファイルはアプリケーションのバージョンアップで使用可能になります。

しかしながら、検証自体が2025年4月1日以降でなければおこなえない為、バージョンアップのリリースは検証後のリリースとなります。

リリース時期は未定ですが、できる限り早急な対応をおこないます。

マウントポイントの変更方法

1. SmartRoller®

SmartRoller®でジェノバ社の配信サービスを使用していて、
2025年4月1日以前のマウントポイントを使用したい場合
※2025年4月1日当日前でも変更可

以下、RINQでの設定になります。



『RTCM v3.2ダウンロード停止』をタップして
メニューをタップします。



『GNSS受信機セットアップ』をタップします。

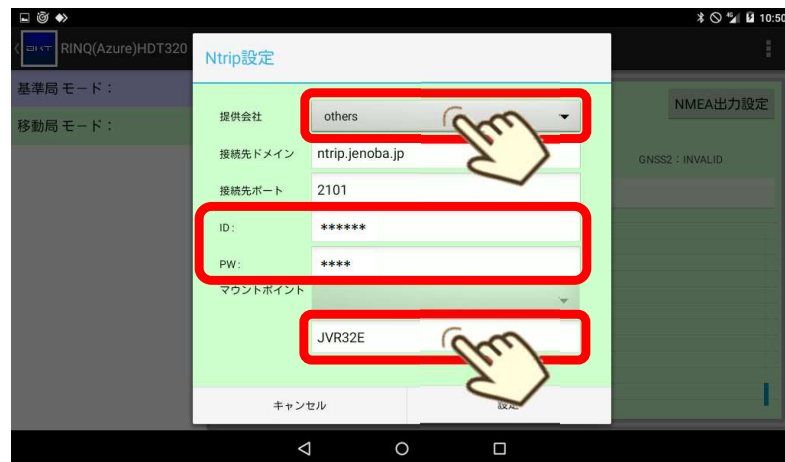
マウントポイントの変更方法



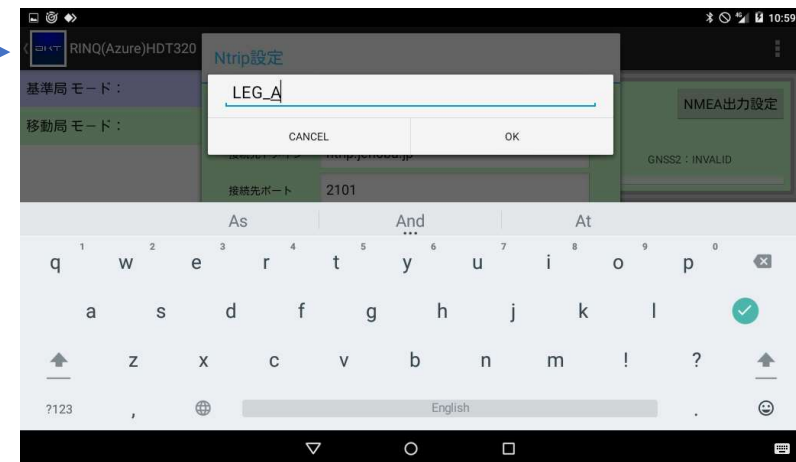
『移動局Ntrip設定』をタップします。



提供会社で『jenoba』選択します。

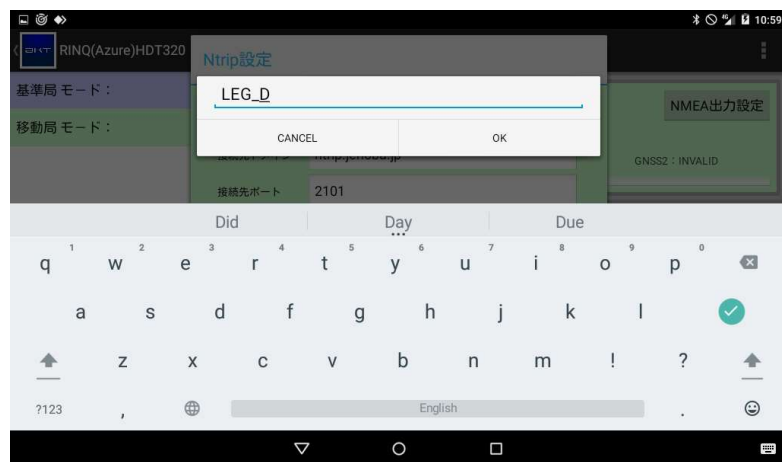


提供会社で『others』選択して、ID・PASSを入力して『マウントポイント』をタップします。



RTCM32 (GPS+GLONASS+QZSS+GALILEO)を使用する場合は『LEG_A』と入力して『OK』をタップします。

マウントポイントの変更方法



RTCM30 (GPS+GLONASS) を使用する場合は『LEG_D』と入力して『OK』をタップします。



『設定』をタップします。



『RTCM v3.2ダウンロード開始』をタップします。

以上でマウントポイントの変更は終了です

マウントポイントの変更方法

2. SmartMate®

SmartMate®でジェノバ社の配信サービスを使用していて、
2025年4月1日以前のマウントポイントを使用したい場合
※2025年4月1日当日前でも変更可

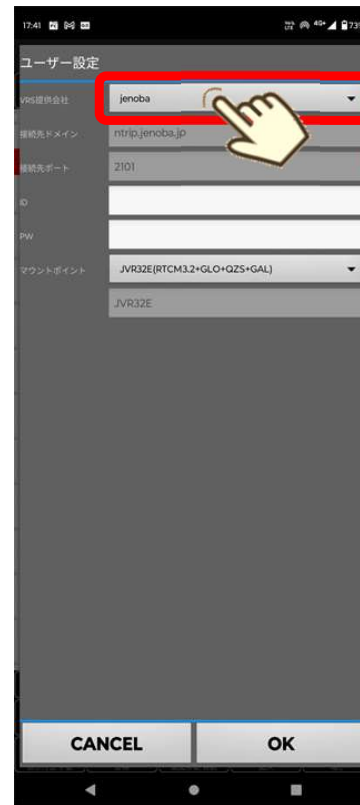
SmartMate®の最新バージョンではジェノバ社マウントポイントの選択で
【LEG_A】 【LEG_D】 の選択が可能になります。

SmartMate®を最新バージョンにアップデートしてください。

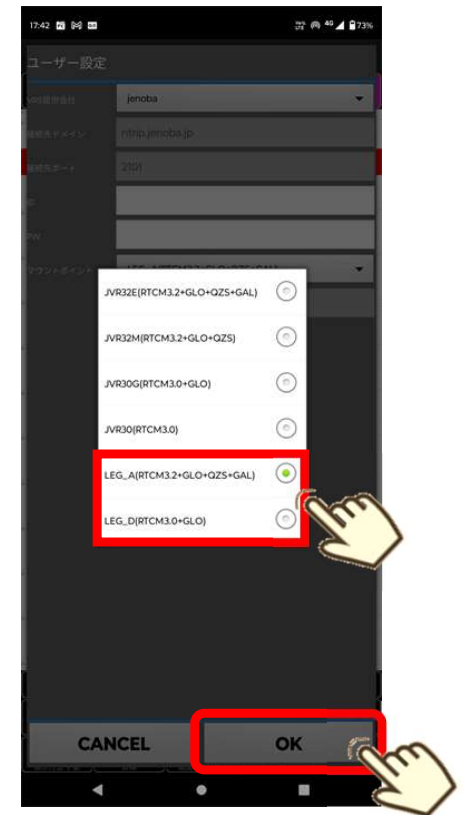
マウントポイントの変更方法



メニューをタップして、
『VRS設定』をタップします



VRS提供会社で、
『jenoba』を選択します



『LEG_A』または
『LEG_D』を選択して
『OK』をタップします。

以上でマウントポイントの変更は終了です

補足（参考）

- 現場で自前基準局を設置して、デジタル無線でRTK計測を行っている場合は設定変更の必要はありません。
- ソフトバンク社の配信サービスを使用している場合、2025年4月1日以降も現状のマウントポイントのまま配信がおこなわれる予定なので、マウントポイントの変更などをおこなう必要はありません。
※測地成果2024の配信サービス変更になる時期、マウントポイント名称などは現在不明なので別途アナウンスをお待ちください。
- ドコモ社の配信サービスで測地成果2024に対応する予定のドコモ社自前基準局を含むマウントポイントRRSGD2024及びRRSD2024の配信時期は現在未定です。
※詳細は別途アナウンスをお待ちください。
※電子基準点のみを使用した配信であるRRSG2024は2025年4月1日より配信予定です。

その他詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。

アカサカテック・営業部 TEL : 045-774-3570

AKT